

ISSN 0385-7476
SSK

141
1996
January



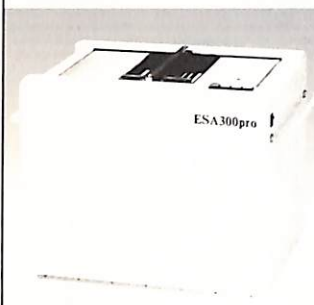
その研究と情報

特集◎
視覚障害
国際協力・交流
最新事情

- 1 「国際交流」ということを考える 岩橋明子
- 6 ネパールの視覚障害者福祉への協力 佐々木秀明
- 12 マレーシア・中国との交流活動 古畑英雄
- 16 アジア盲人図書館協力事業 松谷詩子
- 20 国際視覚障害者援護協会 立花明彦
- 25 ルポ◎「バリアフリー・クリエーション95」高嶋健夫
- 32 talk to talk◎
JIS規格されるブリペイド・カードの識別 木塚泰弘／永井武志
- 43 ボランティア最前線◎みこころの点字会とみこころの点字会文庫
- 48 インフォメーション・コーナー
- 53 「視覚障害」総目次No131～No140

盲人用情報機器シリーズ

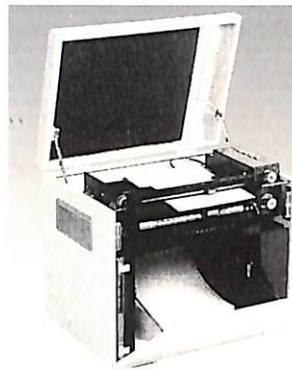
品質の良さは納入先に表れます。



ESA300Pro
点字ラインプリンタ
1ページ5秒!
最高速の業務用
点字ラインプリンタ

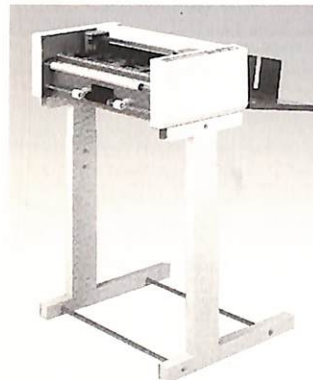
日本最高速の印刷スピードと両面印刷を実現。32マス22行をわずか5秒で打ち出し、ラインプリンタにありがちな紙のよれもなく、すばやく美しく仕上がります。

ESA721 点字プリンタ・プロッタ
点図表現も思いのまま。
定評ある高性能&多機能型



高速印字はもちろん、3点方式による点作図プロッタ機構（世界初）の搭載で、すぐれたグラフィック表現が可能。音も静かで、広くご愛用いただいています。

V-500 大量の用紙カットも、スムーズ&スピーディー



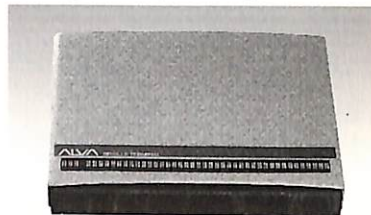
ページエンドと片耳（両耳）カット同時で1,000枚が15分で完了。操作状況が一目でわかる液晶パネル、ページとばし防止ストッカーなどかんたん操作で使いやすく、音も静かです。

PORTA-THIEL ポータ・ティール日本仕様
机の隣に一台、気軽なパーソナル・プリンタ



点字プリンタでは世界的信頼を誇るドイツ・ティール社との提携で生まれた、コンパクトサイズのパーソナルプリンタ。日本点字規格への対応はもちろん、すべて日本仕様です。

ALVA BRAILLE TERMINAL
ABT-340 (40+3キャラクター)
世界標準にアクセスできる
点字用ピンディスプレイ



MS-DOSをはじめIBM/OS2、ウィンドウズにも対応。オランダ・アルバ社特許のタッチカーソルにより、優れた操作性を実現しました。小型軽量で、ノートパソコンにも最適です。

各機器についての詳細、
その他取り扱い機器については、
弊社まで資料をご請求ください。



JTR Corporation

有限会社 ジエイ・ティー・アール
東京都板橋区前野町3-48-1

Tel.03-3967-6606 Fax.03-3969-5861

名古屋で盲人情報国際会議



名古屋の“天白ニューブレール”が発行する点字英語新聞「The Japan Braille News」は現在、英語学習の教材として、また、日本を紹介する点字誌として49か国、600人の視覚障害者に読まれています。

昨年9月、創刊10周年を迎え、これを記念して“アジア・太平洋盲人情報国際会議”が11月18、19日の2日間、名古屋で開催されました。会議には国内外の読者や市民など約300人が参加。

詳細については次号のルポでお伝えします。

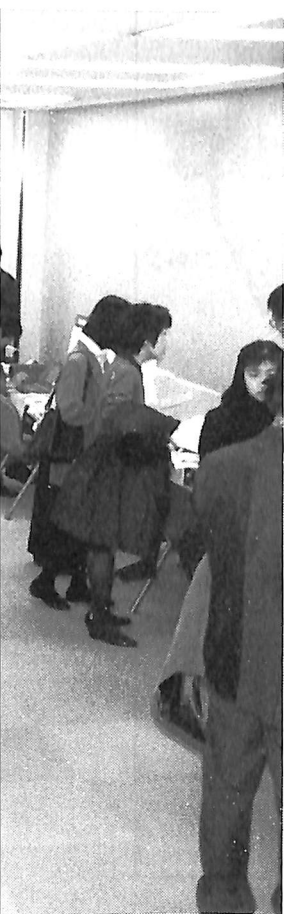
(写真提供：天白ニューブレール)

視覚障害情報メディア展

ここは東京・西新宿の高層ビル群の一つ“新宿パークタワー”19階、12月7、8日の両日、総理府障害者週間・ふれあいキャンペーン参加事業“視覚障害者情報メディア展”の会場です。JBS日本福祉放送が主催したこの催し、初日の講演会では「海外における視覚障害者向け専用放送の現状と課題」と題し、アメリカ、オーストラリア、カナダの状況がインタッチ・ネットワーク（ニューヨーク）、レディオ・フォー・プリント・ハンディキャップ（キャンベラ）のスタッフによって紹介されました。

講演会やシンポジウムの模様は人工衛星を利用した情報提供のデモンストレーションとして北海道や沖縄へ中継放送されました。





視覚障害者用情報機器展のフロアでは、録音図書デジタルシステム、通産省「障害者と情報処理機器アクセシビリティ指針」対応機器などのデモンストレーションが行なわれました。

(写真提供：日本福祉放送)

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

本号は編集の都合により連載“視覚障害者と射撃”を休載させていただき
ました。また発行が遅れましたことをお詫びいたします。

ところで、ルポで紹介したE&Cプロジェクトが開催した「バリアフリ
ー・クリエーション95——障害を持っている人、持たない人が共に使いやす
い共用品、共用サービス展——」にでかけてきました。会場には約400点の
共用品や共用サービスがところ狭しと並べられており、思いのほか多くある
ことに驚くと同時に感激しました。一方で、利用する視覚障害者自身がそれ
らを十分に知っていないことに気づきます。視覚障害関係のメディアよりも
一般の新聞のほうがこれらについて詳しく伝えていることがあるのは気にな
るところです。共用品・共用サービスの視覚障害者へのPRと、この点にお
けるメディアの役割が今後の課題の一つのように思われます。

(立花明彦)

視 覚 障 害 1996年1月 №141
年間講読料 4,200円(送料とも)
発行日 1996年1月1日
編集人 立花 明彦
(連絡先) 日本盲人福祉研究会
〒166 東京都杉並区成田東5丁目36番15号
電 話 (03) 3220-1421
FAX (03) 5397-7003
振替口座 00110-4-576094
発行人 身体障害者団体定期刊行物協会
〒157 東京都世田谷区砧6-26-21
印刷所 合同印刷株式会社
〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 03(3624)6111(代表)